

県図なう。

鹿児島県立図書館の“今（ナウ）”をお知らせし、図書館と利用者をつなぐ情報紙です。

令和3年6月15日 発行
第123号（毎月15日発行）
http://www.library.pref.kagoshima.jp
Tel : 099-224-9511

県立図書館
ホームページ



県立図書館
フェイスブック



鹿児島県立図書館

ホットニュース

今年、くすのきしげのりさんの講演です。

親子読書研修会を7月4日(日)に開催します。

今年度の親子読書研修会のテーマは、「『親子読書のあゆみ』～世代をつなぐ『宝本』～」です。

- ◇ 日時 : 7月4日(日)午後1時から午後4時5分まで
- ◇ 会場 : かごしま県民交流センター 県民ホール
- ◇ 内容 : 日当山小学校親子読書会、「おはなし ととけっこう」の実践発表
児童文学作家くすのきしげのり氏のオンラインによる講演
- ◇ 定員 : 280人(定員に達し次第締切り)
- ◇ 申込み : 以下の方法から選んでお申し込みください。



『おこだでませんように』 小学館
くすのきしげのり/文 石井聖岳/絵

- ① 申込用紙(ちらし裏面またはHPからダウンロードして)を当館のカウンターに提出
- ② 申込用紙をFAXで送信
- ③ 電話による申込み
- ④ Eメールによる申込み
- ⑤ QRコードからの申込み

- ◇ お願い : 新型コロナウイルス感染拡大予防のため、マスク着用、会場入口での検温等に御協力ください。
お問合せは、県立図書館奉仕課企画指導係まで 電話:099-224-9514 FAX:099-224-5824
Email : libhoushi@pref.kagoshima.lg.jp

図書館で探そう、調べよう!

庭木の剪定に関する資料はありますか？

先日、ある利用者の方から、「木の剪定に関する本が見たい」という質問を受けました。詳しく聞くと、木の種類は「アジサイ、ナンテン、ハナミズキ」等の樹木と、「サクランボ、ビワ、ブルーベリー、イチジク」等の果樹についての剪定期や剪定方法をお知りになりたいということでした。

まず、検索用のパソコンで「剪定」というキーワードで調べると、分類「62」(園芸)の所に「庭木の剪定」関係の本があることが分かったので、依頼者と一緒に該当の書棚に行き、以下の資料を紹介しました。

- ・『図解だからわかりやすい花木・庭木剪定のコツ』(主婦の友社) ⇒約100種類の樹木が掲載されており、お求めの「アジサイ、ナンテン、ハナミズキ」それぞれの剪定期、コツ、栽培のポイント等が絵付きで記載されていました。
- ・『はじめての果樹の育て方』(ブティック社) ⇒11種の果樹の育て方の基本や剪定の方法が記載されています。
- ・『果樹栽培実つきがよくなる「コツ」の科学』(講談社) ⇒Q&A形式で分かりやすく書かれています。

他にも棚を見ていくと、各樹木・果樹ごとの栽培をテーマにした本もいくつかあり、一通り御覧になった後、上記3冊と他にも数冊借りて、満足して帰られました。

「木の剪定」と言っても、種類によって時期も方法も違うという、園芸の奥深さが分かる相談でした。

皆様も庭木のお手入れの参考に、当館の資料はいかがでしょう？

《一般図書》 6月15日(火)

新着図書案内

《児童図書》 6月23日(水)

- 『東大理Ⅲスピード読書術』 佐々木京聖/著 学研プラス
- 『今日、これ買って来た』 笠原将弘/著 学研プラス
- 『たたかう免疫』 NHKスペシャル取材班/著 講談社
- 『エレジーは流れない』 三浦しをん/著 双葉社
- 『戦国武将の土木工事』 豊田隆雄/著 彩図社

- 『おじいちゃんのたびじたく』 ソ・ヨン/作, 絵 斎藤真理子/訳 小峰書店
- 『葉っぱにのって』 濱野京子/作 金の星社
- 『さくら村は大さわぎ』 朽木祥/作 小学館
- 『わたしの気になるあの子』 朝比奈蓉子/作 ポプラ社
- 『あしたの幸福』 いうみく/作 理論社

調べ物のお供に。レファレンス事例検索

当館2階郷土資料コーナーに「レファレンス事例検索用パソコン」が設置されています。このパソコンでは、利用者の皆さんがこれまでに調査で使用した資料等を調べる事ができます。掲載されている内容は、「質問内容」「書名等、本の情報」「該当ページ」等です。手順は以下の4つです。

- 1 調べたい事柄や人物名等のキーワードを検索タブに入力
- 2 検索一覧から、関連しそうな項目をダブルクリック
- 3 詳細情報や照会された資料を確認する
- 4 資料の書名や資料番号、及びページ等をメモする

4つの手順を踏み、実際に資料を見たり、キーワードからヒントを得て更に調べ物を進めたりすることができます。

この「レファレンス事例検索」は、当館 HP「調査相談(レファレンス)」内からも自由に御覧いただけます。

郷土(鹿児島県)に関する調べ物にどうぞ御活用ください。



図書館職員のつぶやき

県立図書館には、「すばる号」という名前の車があります。

見た目はバスです。中身も、バスです。人は3人しか乗れませんが、バスです。

図書館の駐車場で、「このバス、いったい何？」と思った方も多いことでしょう。

この車に乗っているのは大量の「本」です。この「すばる号」に、地方貸出用の本を積んで、県内各地の公共図書館や図書室に運びます。三島・十島や熊毛地区には船で送ります。大島地区は県立奄美図書館が担当です。

「貸出文庫」と呼んでいるこの事業は、久保田彦穂(棕鳩十)氏が館長を務めていた昭和の時代からずっと続いているものです。

貸し出す対象は、申込みをいただいた公共図書館や図書室ですが、公共図書館(室)を窓口にも、園や学校、児童クラブ、福祉施設などの方にも利用していただいています。

昨年度は、40,000冊を越える本を運びました。「県立図書館の本を地元の図書館で借りられる。」と好評です。

今日も「すばる号」は、県内各地に本を届けています。

県立図書館に届いた「宝本」エピソード

今回紹介していただいた宝本は、佐野 洋子/作・絵『100万回生きたねこ』(講談社)です。

この本は、小さい頃から母に読んでもらっていた本です。小さい頃は、ねこがかわいそうだなと思っていました。ねこの死に方、ほとんどが残酷なものだったからです。

100万回目にねこは飼い主のいない野良猫として生を受けます。そのとき初めて、愛されるだけでなく、愛するという経験をします。

中学生になった今、この本の最大のメッセージ「愛し、愛されること、命の大切さ」に気付くことができました。この本は、ずっとわたしの宝本です。



図書館クイズ

にじいろのほん『かたあしだちょうのエルフ』おのきがく/文・絵(ポプラ社)からのクイズです。

だちょうのエルフは、なんのどうぶつのなまねがとくいかな？

- ①ゾウ ②ライオン ③チーター

ヒント

ひゃくじゅうのおうさまだよ！

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、7月14日(水)までに入れてください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。

前回の答えは「③うま」でした。

たくさんのお応募ありがとうございました。

図書館カレンダー



	日	月	火	水	木	金	土
6	13	14	15	16★	17	18	19
月	20	21	22	23★	24	25	26
	27	28	29	30★	1	2	3
7	4	5	6	7★	8	9	10
月	11	12	13	14★	15	16	17

○ 開館時間 火曜日～土曜日:9時～21時

※ 児童文化室は19時まで

日曜日・祝日(白抜):9時～17時

- は、休館日
- は、学習室のみ開室(6月25日 9時～17時)
- ★ は、おはなしのじかん(毎週水曜日 15時30分～16時)
- ◇ は、一般閲覧室新着図書の日(6月15日,6月30日【予定】)
- は、児童文化室新着図書の日(6月23日)